

ことのは

岡崎市立常磐小学校
校長 岡村 直美



4年生が滝山寺付近まで出かけ、青木川にアユを放流しました。今年も漁業組合や地域の方々が「常磐の自然を知ってほしい。それに、子供たちが喜んでくれるから。」と招いてくださいました。「アユはどこまで泳ぐの?」「雨が降って水が増えたから、アユって死んじゃう?」「いつ戻ってくる?」など、地域の方に次々と質問をしていました。興味をもつことは「なんで?」「どうなる

の?」「もっと知りたい」の思考が回転し始めるきっかけとして、とても大きいことを感じます。実体験を通じて心動かされる機会を大事にしていきたいと思います。



「こんなところまで登れるよ」

1年生が安全な遊具の使い方を学習し、早速、ジャングルジムに登ったり降りたりと楽しんでいます。休み時間には運動場を力いっぱい走る姿もあります。給食準備や掃除など、できることが増え大きな成長を感じます。



「構図が難しいなあ」「描いていくうちにバランスが偏ってきちゃった」6年生は仁王門で写真に取り組み中。新緑がまぶしく、仁王門の朱色とのコントラストが美しいです。その中で、お気に入りの構図を決めて描き始めていました。タブレットで写真を残し今後も教室で制作を続けていきます。



「わぁ こいのぼりがいっぱいだ」

いきいきガーデンを管理している寿会の方が声をかけてくださり、子供たちがこいのぼりを作りました。風雨に耐えられるよう、袋に入れた個性あふれるこいのぼりを、はなはな組と6年生が飾りに出かけました。青空の下、こいのぼりは気持ちよさそうです。9日頃まで掲げる予定のようです。



「ジャンケン列車が楽しかった」「おっきな絵本の「変身トンネル」おもしろかった」1・2年生の交流会「ワンツータイム」。今回は2年生が1年生を歓迎する企画。校舎内を案内したり体育館で一緒にレクリエーションを楽しんだりしました。満足そうな2年生の表情が印象的でした。



縦割り班発足会では6年生の大きな声や下学年への思いやりある行動が光りました。中でも、勝ちどき練習では、手本を見せたり、隣に行って声をかけたりと、チーム全体を意識するからこそ、気付いて行動する姿があり頼もしく感じました。今後の縦割り班活動が楽しみです。

「イソギンチャクのページはここだよ」はなはな3組はおとぎの部屋で学習中。生き物図鑑を使って、目次から見つけた生き物の名前を選び、そのページを探していました。本に触れ、目次の便利さを知る機会でした。

